

「大きな歴史への一步」

西都市立西都中学校 3年 ^{ます}増 ^だ田 かな

「新しく開校した西都中学校をどんな学校にしていくべきか…」初代生徒会長となった私の最大のテーマである。私たちには、5つの中学校の歴史を受け継ぐだけでなく、新しい歴史をつくり始めるという大きな仕事がある。西都中は、西都市内の5校が再編された中学校だが、それぞれの学校が持っていた良さは数え切れないほどたくさんある。それを西都中の新しい歴史へと紡ぎ直さねばならない。今、生徒会長である私の両肩に、大きな責任がのしかかっている。

では、新しい学校の歴史づくりとは、どんなことから始めるべきだろうか。元プロ野球のイチロー選手は「小さなことを積み重ねることこそが、大きなことを成し遂げるただ一つの道」という言葉を残している。新しい学校の歴史を創ることもまた、挨拶など毎日の小さな取組の積み重ねから始まるのではないだろうか。だから私たち生徒会は、西都中の歴史づくりにつながる様々な取組に挑戦していかねばならない。

その一歩目が、第1期生徒会のスローガンづくりだった。スローガン作成にあたって、私は、自分たちも作成に関わった「スクールコンパス」を土台とした。西都中のスクールコンパスである「自立・共創・挑戦」の3つを踏まえて、第1期生徒会スローガンは「創翔」とした。「創」という漢字は、スクールコンパスの「共創」からとった。西都中学校の新たな歴史の始まりを、生徒や先生方、地域の人と共に創り上げていこうという意味をこの文字に込めた。「翔」には、一人一人が「自立」してたくさんのことに「挑戦」しながら、最後には大きく羽ばたいていこうという意味を込めた。

また、私は西都中を「不安な気持ちを口にさせない」とか「助けてほしいでも自分から助けを求められない」という人達の気持ちも大切にする、安心・安全で過ごせる学校にしたいと考えている。先ほどイチロー選手の言葉を紹介したが、私たち生徒会は、安心・安全な西都中づくりの小さな一歩目として「西都中人権宣言」を作成することにした。生徒全員が楽しい学校生活を送ることができ、誰もが過ごしやすい環境をつくるためには、できるだけ多くの人に「人権」について知ってもらう必要がある。違いを否定するのではなく、5つの学校が合わさったからこそ生まれる、新しい校風を誇れる学校へ…。人権宣言にはそんな思いも込めている。

さらに、私が生徒会活動で大切にしたいことは、校長先生もよく言われる「生徒ファースト」という基本姿勢である。私たち生徒会は、学校を引っ張るリーダー的存在だが、ただ行事を運営するだけでは意味がない。生徒一人一人の声に耳を傾け、誰一人取り残さない学校をつくることこそが、生徒会の役割だと私は考えている。でも一体どうすれば…？ 優しすぎるとみんなは変わらない。でも、強さだけだとみんなはついてこない。「みんなを引っ張る」というよりも、「みんなの意見に耳を傾ける」そういうリーダーに私はなりたい。そして、誰かに決めてもらう学校ではなく、誰かについていくだけの学校でもなく私たちが自分自身で考え、行動し、支えあうことが「生徒ファースト」の本当の意味ではないだろうか。

未来の後輩たちが「西都中の生徒でよかった」と胸を張れるような、学校の土台づくりをしたい。そして、私たち自身が大人になった時に、「私たちの頑張ったあの日々が、実は新しい伝統の始まりだったんだ」と語り合えるような、小さいけれども大きな歴史への一歩。そんな一歩を私は踏み出したい。